修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

修学旅行の補助金決る　文部省

中学生は二万六千百円に

小学生　八千三百円、へき地も同額

要保護

五十三年度政府予算の成立で文部省の要保護・準要保護ならびに高度へき地の児童生徒にたいする修学旅行費、校外活動費がそれぞれ決定した。

ことしも前年度と同様に要保護・準要保護とへき地は同額となった。しかし、昨年度は概算要求をはるかに上回わったのに本年度は中学校、小学校とも要求額に満たなかった。

【要保護・準要保護】

要保護・準要保護児童生徒にたいする修学旅行費は、昨年度の中学校一万九千八百五十円が二万六千百円となり、増額率は三二・四%。小学校は六千九百五十円が八千三百円で一九・四%の増額となった。

対象人員の中学三年が九万七千四百六十一人から一千八百一人と増えたのに対し、小学六年生は七千七百三十人も減って十万五千百二十二人。対象小学生は前年度も減少している。

さきの概算要求では中学生が二万七千二百円、また、小学生が八千七百円だったので中学校は千百円、小学校四百円を下回わったことになる。

この計は十七億八百六十五万七千円で、昨年度より三億六千六百九十五万九千円の増額。

また校外活動費は準要保護だけを対象とし、中学校が四百七十円から六百七十円、小学校は二百九十円から四百三十円となり、中学校は二百円、小学校百四十円の増額であった。この計は一億八千五百八十五万五千円で、前年度より六千百四十二万一千円の増額である。

対象の人員は中学校二十二万五千五百二十八人で、前年度より三千二百六十二人の増。小学生も四十九万七千九百四十人から五十一万三千三十九人となり一万五千九十九人増えている。（補助率二分の一）

【高度へき地】

ことしも一、二級は認められなかった。補助額は中学校、小学校とも要保護・準保護と同じであるが、前年度にくらべると総額では一億九千四百三十八万五千円が四千三百二十三万九千円増えて、一億三千七百六十二万四千円。

対象人員は中学校、小学校とも前年度より減少、中学校では一万一千二百十四人から四百七十八人減って一万七百三十六人小学校は九千九百二十五人から七百四十一人減の九千百八十四人になっている。（補助率三分の二）

全修協で陣容強化

駒井氏が滋賀県支部長

本部事務局の二部長も

（財）全修協では支部ならびに事務局の強化を図っているが、欠員中の滋賀県支部長に前県教組執行委員長の駒井徳左衛門氏が四月一日付で就任、また、事務局関係では、四月一日付で本部の研究部長に小泉松雄氏、同十五日付で中央研修部部長に藤田勝次郎氏がそれぞれ就任した。さらに大阪事務所長小西恕二郎氏の調査役就任によって同次長・曽田震五氏が一日付で所長となった。今後も支部の整備は進められるか、とくに本部事務局、大阪事務所の陣容強化で事業の遂行は一段と前進するものと期待される。新しく滋賀県支部となった駒井徳左衛門氏と本部事務局員の略歴は次の通り。

駒井徳左衛門氏

駒井徳左衛門氏　昭和十年三月、滋賀県師範学校卒、同四十九年まで県内の公立小学校に勤務、そのあいだ二十九年四月から四十九年三月まで県教職員組合執行委員長をつとめ、教育界はもちろん全県下からの信望があつい。現住所は高島郡安曇川町北船木一二七二。六十二歳。

小泉松雄氏　昭和十六年三月、国学院大学高等師範部卒、都内工業高校教諭などを経て外地へ。終戦引き揚げ後、二十四年から都内公立中学校の教諭、校長を歴任、本年三月まで練馬区立開通第三中学校長を勤めた。現住所は練馬区石神井台五—二五—二一。六十歳。

藤田勝次郎氏　昭和十二年三月豊島師範一部卒、同二十六年、専修大学経済学部経済科卒。十二年から都内公立小中学校教諭、校長を歴任、本年三月国分寺市立第三中学校長を最後に退職。現住所は小金井市桜町一—六—二〇。六十歳。

藤田勝次郎氏

小泉　松雄氏

風紋

さいきん、地名を大切にする運動がたかまってきた。われわれの住んでいる地名が学術的に大きな意義を持っているのに拘わらず、いたって無雑作、安直に変更されている実情に対し、心ある人たちが「地名を守る会」を設立、その趣旨に共鳴するものも多く、大いに気勢があがっているという▼東京を例にとってみる。昭和十一年に中心部は十五区で発足、昭和七年には隣接地域を併合して二十五区にふくれあがり、同二十二年には現在の二十三特別区となった。同時に合併による人口増や財政的な理由から村は町に、町は市とするための併合が行われた。これが地名変革第一の危機であった▼併合によって歴史的価値をもつ地名が続々と抹殺されてしまい、正体不明の名称が浮かびあがってきた。東京都の現在の大田区は旧大森と蒲田で合併したもので大田の一字を仲よく頂戴した。また、国分寺と立川の間にあるので国立市。港区は新宿まで伸びて、港の見える場所まで行くのにどれくらい時間がかかることやら。本郷と小石川がいっしょになって文京区。東大をはじめ学校が多いのが理由らしい▼第二の危機は「住居表示に関する法律」（その後一部改正）の誕生である。われわれを育てはぐくんだという郷愁もさることながら、学問的に貴重な資料を提供する地名がまたたくまに消え失せている。おそらく全国いたるところでこの事態は起きているだろう。地名の変更を阻止したのはサトウ・ハチロー氏で、自分の住む本郷弥生町の名を由緒あるものとして守り抜いたし現千代田区三崎町も古老たちの叫びで西神田への統合を阻んだ▼画一、かつ事務的な変更で、ゆたかな伝承が皆無となることをおそれる。自治体の事務処理と郵便の配達だけが便利になっても仕方がない。文化財の指定が激増している昨今、立派な無形文化財としての地名をもっと大切にすべきであろう。

財・全修協

本年度の事業計画

研究発表会もひらく

①活発な調査活動に期待

去る二月二十四、五日、熱海市で開かれた財団法人・全国修学旅行研究協会の第十九回通常総会で本年度の事業計画が決定、本部事務局では着々とその具体化に努力を重ねている。今後、修学・研修の二大部門にわたる運動に大きな成果がみられよう。総会当日、魚谷時太郎理事（修学旅行特別委員長）が提案、満場一致で可決した第二号議案「本年度・修学旅行の改善運動に関する件」の概要は次の通り。

五十三年度修学旅行の改善運動

一、基本方針

修学旅行は校内での学習と同様に価値ある重要な行事として教育課程に規定され、また、指導要領においては特別活動として位置づけられている。

全員参加のもとに実施される修学旅行は、当然、有効な教育成果が期待されるところから、まず現状把握が必要であり、それによって調査分析が行われることが要求される。

提案する魚谷理事

それは、修学旅行の改善向上の出発点であって、五十三年は次の各項にわたっての調査研究および改善運動を行なう。

①調査研究活動

修学旅行は、校外における学習の場であり、かつ生徒指導のための重要な場であるから、そこに教育効果を求めるための基本資料が必要であり、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会ならびに各地区公立中学校修学旅行委員会と提携して実態および意識調査を行う。

②改善向上運動の方針

調査研究の結果にもとづき、前記三地区および各修学旅行委員とともに修学旅行実施の隘路となる公共料金、諸物価高騰抑制のための運動に総力をあげ、円滑なる修学旅行の実施を期するものである。

教育性の向上など

二、おもな目標

以上の方針により、次の三項目にわたって修学旅行委員会をはじめ現場各学校に対し指導助言を行い、その実現を期する。

①教育性の向上

修学旅行に教育的意義を求め、総合学習の場としての完璧な実施を行うための方策を講ずる。

②安全性の確保

生命の尊重を最優先とし、交通事故の皆無、宿舎の完全なる設備および衛生管理に万全を期する。

③費用の軽減

年ごとに高騰する修学旅行費について、父母の関心度がますます高まる現状にかんがみ、五十三年度はこの対策を重点的にとりあげる。

三、調査研究活動の展開

①特別委員会の組織と運営

修学旅行委員会は理事長の諮問機関で、全修協、学識経験者および地区代表をもって組織し、全修協の修学旅行に関する年度方針を樹立してこれを答申する。

②研究協力による研究発表会の開催。

五十三年度は関東地区＝埼玉県、東海地区＝岐阜県、近畿地区＝京都府を予定。

③研究協議会の開催

三地区連絡協（六、十一月）関東、東海各地区（九—十二月）

④研究座談会の開催

各地区代表により「修学旅行と非行問題」をテーマとする。

⑤現地研修会、視察会などの開催

各地区の修学旅行目的地を中心として、校長および教職員による研修会を実施し、見学個所の精選、関係機関、団体および業者と協議懇談する（八月—十二月）

⑥諸調査の実施

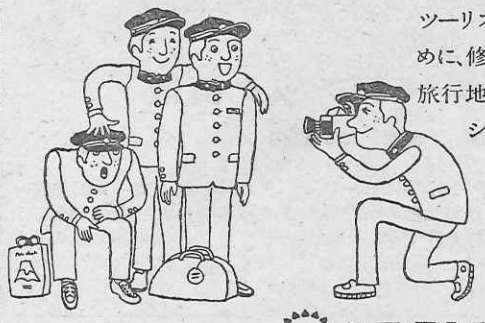
（一）都道府県、指定都市の修学旅行実施基準概要調査（四月）

（二）修学旅行の評価、動向および意識の実態調査（九月）

（つづく）

異動　財団法人・富山県教職員厚生会（恭丘金太郎会長）では四月一日付で事務局長に山下歳氏（前芝園中学校長）が就任、前事務局長の田畑常清氏は退職し財団法人・富山県教育記念館事務局へ勤務。

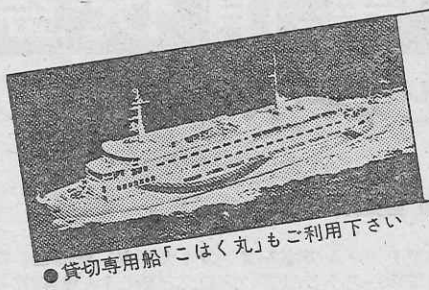
ツーリストの修学旅行は新鮮です。



ツーリストでは、より充実した修学旅行のために、修学旅行用の映画を製作いたしました。旅行地別に編集した16ミリカラー「学習の旅シリーズ」、日本の文化・歴史・自然などを広範囲にとらえた「ツーリスト映画シリーズ」など約20編。事前のオリエンテーションのほか、学習の教材にもどうぞご利用ください。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN



思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貨切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6—7—15　☎(06)574—9161
東京都中央区八重洲1-9-9　☎(03)274—4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

研修旅行募集はじまる

前・後期で26コース

行事も豊富に盛り込む

全修協企画の本年度・夏の教職員研修旅行は前後二期に分けて実施される。一般研修が十九コース特別研修四コースのほか、日教組と共催の海外二コースに友好訪華も加わり多種多様の陣容となった。研修旅行の特色ともいうべき講演、解説、現地指導などは各コースで行われ、研修の実をあげるよう努力を払っている。前期は七月下旬～八月上旬、後期は八月中旬―同下旬。会費などは全修協支部、友誼団体から各学校へ配布するチラシでご確認をねがいたい。前号につづくコースの概要は次の通り。（日時および会費は東京基点で、地区・県によっては募集しないところもあるのでご注意のこと）

吉野・十津川と南紀

【前期・一般研修】

▽五泊六日、七万九千八百円。①東京―京都―吉野・吉野行宮跡・蔵王堂・吉水神社・竹林院・吉野泊②如意輪寺―五条―賀名生・後醍醐天皇在所跡堀家―天辻峠―阪本―風屋ダム―十津川泊③本宮・能野坐神社―新宮・丹鶴城跡・熊野速玉大社・徐福墓―那智山・那智滝・那智大社・青岸渡寺―勝浦泊④太地―串本―白浜・千畳敷・三段壁・平草原・丹月島―白浜泊⑤御坊―道成寺―亨志川―九度山―高野山・金堂・霊宝館・不動堂・根本大塔など―高野山泊（講話）⑥奥の院自由研修　橋本―紀見峠―河内長野―新大阪―東京。

出羽三山と磐梯・蔵王

【前期・一般研修】

▽四泊五日、五万九千円①上野（車中泊）②鶴岡―羽黒山（講演）―月山八合目―鶴岡・致道博物館―湯殿山―寒河江―天童泊③立石寺―蔵王ライン―エコーライン・刈田岳お釜―遠刈田―白石―福島・信夫文字摺石―飯坂泊④吾妻スカイライン―松原湖―五色沼―会津若松（講演）・武家屋敷・飯盛山・鶴ケ城―東山泊⑥猪苗代湖・野口記念館・郷土館―会津若松―郡山―上野。

能登半島と佐渡島

【前期・一般研修】

▽四泊五日、五万九千八百円。①上野（車中泊）②金沢・兼六園・成巽閣、武家屋敷―津幡―千里浜ドライブウェイ―羽咋―妙成寺―能登金剛―総持寺別院―輪島・輪島塗工程・海士町―輪島泊③上時国家・下時国家―曽々木海岸―禄剛崎―珠洲―宇出津・九十九湾（船）―飯田泊④佐渡小木―島内・真野陵・黒木御所跡・佐渡博物館・七浦・尖閣湾（講演）―相川泊⑤金山跡・資料館―大佐渡スカイライン―両津―新湾―上野。

佐渡・磐梯・蔵王

【前期、一般研修】

▽五泊六日、六万九千八百円。①上野―新潟泊②両津―島内・黒木御所跡・真野御陵・佐渡博物館・七浦海岸・尖閣湾・相川公民館で講演・相川泊③金山跡・大佐渡スカイライン―両津―新潟―会津若松―東山温泉泊④会津若松・鶴ケ城・飯盛山―猪苗代湖・野口記念館―五色沼―浄土平―福島―飯坂温泉泊⑥福島―白石―遠刈田―蔵王エコーライン―刈田岳―天童泊⑥山形―上野。

尾瀬の探勝

【前期・特別研修】

▽四泊五日　三万六千六百円。①上野―沼田―老神泊（事前学習）②大清水―三平峠―尾瀬沼ロッジ―小淵沢田代―沼の平―長蔵小屋泊③沼尻―下田代―三条の滝―第二長蔵小屋泊④竜宮小屋―山の鼻―鳩待峠―戸倉―丸沼・湯滝―竜頭の滝―鬼怒川―⑤日光（東照宮）―宇都宮―東京。

奥東北（津軽と恐山）

【後期・一般研修】

▽五泊六日、七万三千円。①上野（車中泊）②東能代―十二湖・日本キャニオン―黄金崎―深浦―大戸瀬崎―鰺ケ沢―金木町―太宰治の生家―五所川原・弘前城―弘前泊③岩木山神社―弘前―青森・棟方志功記念館―野辺地―むつ―大畑―薬研温泉泊④恐山―野辺地―焼山―石ケ戸―銚子大滝―子の口―休屋泊⑤発荷峠―トコロ温泉―八幡平頂上―盛岡・城跡・原敬記念館―小岩井牧場―花巻温泉泊⑥―上野。

比叡山と近江路

【前期・特別研修】

▽三泊四日、六万一千五百円。①東京―京都―比叡山泊②根本中堂―東塔―西塔―横川―三井寺―近江神宮―比叡山泊③大津―石山寺―永源寺―安土城跡―村雲御所―長命寺―琵琶湖大橋―京都泊④京都市内（文化財と名園、伝統工芸など見学）―東京。

大台が原と大杉谷

【前期・特別研修】

▽四泊五日、六万三千円。①東京―京都―奈良泊（事前学習）②奈良―天理―桜井―大台が原ドライブウェイ―大台が原・シオカラ谷―大蛇ぐら―千石ぐら―正木が原―日出岳―大台が原泊③大杉谷―堂倉滝―与八郎滝―かくれ滝―光滝―七つ釜―桃ノ木泊④平等ぐら―ニコニコ滝―獅子洲―千尋滝―大日ぐら―宮川乗船場―大杉―松阪―鳥羽泊⑥伊勢志摩スカイライン―伊勢神宮―宇治山田―名古屋―東京。

安曇野と塩の道

【前期・特別研修】

▽三泊四日、四万七千百円。①上野―長野―松本―白馬―宮

昨年度研修旅行写真コンクール作品・尾瀬探勝コース
「ニッコウキスゲ」中田重男氏（兵庫県）

夏のコース一覧

前期（七月下旬～八月上旬）

一般研修

▼北海道一周A（六泊七日）▼同B（五泊六日）▼同C（七泊八日）▼道南（松前・江差）と洞爺（五泊六日）▼知床・納沙布（四泊五日）▼利尻・礼文（四泊五日）▼東北一周（五泊六日）▼陸中海岸と金華山（四泊五日）▼奥東北―津軽と恐山（五泊六日）▼出羽三山と磐梯・蔵王（五泊六日）▼佐渡・磐梯・蔵王（五泊六日）▼能登半島と佐渡が島（四泊五日）▼能登半島・越前（四泊五日）▼九州一周（七泊八日）▼四国（六泊七日）▼山陰（五泊六日）▼木曽・飛騨路とアルペンルート（四泊五日）▼吉野・十津川と南紀（五泊六日）▼信濃路（四泊五日）

特別研修

▼尾瀬の探勝（三泊四日）▼安曇野と塩の道（三泊四日）▼大台が原と大杉谷（四泊五日）▼比叡山と近江路（三泊四日）

後期（八月中旬―同下旬）

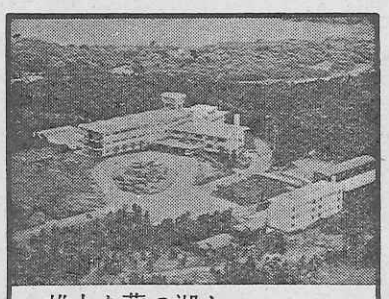
▼北海道A（六泊七日▼同（五泊六日）▼道南―松前・江差）と洞爺（五泊六日）▼知床・加沙布（四泊五日）▼奥東北―津軽と恐山（五泊六日）▼南東北―芭蕉をたずねて（近畿のみ五泊六日）

日数は特記のほか、東京発着。

海外

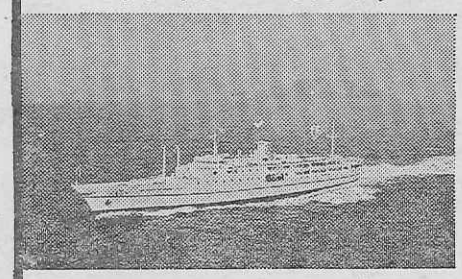
▼WCOTPとオーストラリア・ニュージーランド（七月二十五日―八月十一日）＝日教組と共催

▼ヨーロッパ・ロマンチック街道（七月二十八日―八月九日）＝同。▼友好訪華（八、十一月）



雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原
修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595(代表)

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）

・スケジュール・コースはご自由に　・船内でのグループ活動・学習に最適
・旅客定員 1,800名　・全室エアコン完備
・サロン・休憩室・医務室完備　・一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

We'll be No.1（世界一をめざして）
奥別府安心院草原
115万m²の 野生の王国…

■営業時間／午前9時～午後5時
（冬期12/1～3/15午前9時30分～午後4時）
■修学旅行料金
高校生 900円
中学生 600円
小学生 500円

－年中無休－
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑字西の台TEL(09784)8－2331(代)
東京事務所・文京区湯島4－6－11　TEL (03) 816－4843

第15次会員募集　海外事情視察団　企画主催｜日本教職員組合 (財)全国修学旅行研究協会

■A：WCOTPとオーストラリア ニュージランド
期　日　7月25日～8月11日（18日間）会費585,000円
訪問先　3カ国8都市　定員40名
世界の教育者が集まる国際会議WCOTP（インドネシア・ジャカルタ）傍聴と、南半球への旅。日本の21倍もある広大な国オーストラリア、大自然と珍らしい動物たちと羊と酪農の国ニュージーランド。開拓の歴史と自然の調和をさぐる旅です。

■B：ヨーロッパ・ロマンチック街道
期　日　7月28日～8月9日（13日間）　会費　488,000円
訪問先　5カ国10都市　定員40名
現代から中世へ、時を移す幻想の世界を中心にヨーロッパ・バスの旅。ローマの遺跡と工業都市ミラノ、アルプスの景観とおとぎの国を思わす古城の美しさ。素朴で楽しい人々との語らい。文化の伝統に触れる旅です。

★詳細は4月中旬、各学校に配布するチラシをごらんください。お申込みもチラシに掲載にある個所か各都道府県教組あて
★日教済ローンがご利用できます。くわしくは日教済（本部、支部）または全修協本部（03―262―2932）へお問い合わせ下さい。日教済の会員でない方は近畿日本ツーリストの旅行ローンをご利用できますから全修協へおたずね願います。

申込みしめきり6月10日